

第13回放射線量測定結果

岩槻支部

測定者：渡邊・大明
実施日：10月28・30日

天気：10/28 曇り 10/30 (雨のち)晴れ

* 上段に初測定の年度と値、下段に今年度の値を表示。
地上5cmで毎時1μSv(マイクロシーベルト)及び地上1mで
毎時0.23μSvが測定されたら除染の可能性あり。

場所	測定年度	測定値(単位:μSv) *		備考	測定日	
		地上5cm	地上1m			
加倉(北)交差点 ※	高速道路下	2012	0.106	0.119	アスファルト	10/30
		2024	0.091	0.083		
岩槻駅西側	裏ガード入口	2012	0.122	0.097	アスファルト・草	10/30
		2024	0.079	0.059		
	裏ガード中央	2012	0.108	0.097	コンクリート	10/30
		2024	0.099	0.087		
岩槻駅	東口看板下	2012	0.068	0.068	ブロック敷	10/30
		2024	0.071	0.053		
岩槻文化公園	テニスコート脇 太い木の下	2018	0.063	0.042	草地	10/28
		2024	0.041	0.042		
	村国山頂上	2018	0.061	0.041	石畳	10/28
		2024	0.056	0.040		
	砂場	2022	0.056	0.05	砂	10/28
		2024	0.052	0.049		
岩槻城址公園	電車乗降口前	2018	0.053	0.042	アスファルト	10/28
		2024	0.055	0.046		
	トーテンポール	2018	0.072	0.081	草地	10/28
		2024	0.042	0.039		
川通公園	ブランコ中央下	2018	0.066	0.044	草地	10/28
		2024	0.047	0.046		
	トイレ前※	2018	0.053	0.044	アスファルト	10/28
		2024	0.067	0.052		
南平野公園	看板下	2018	0.076	0.053	草地	10/28
		2024	0.049	0.048		
	池 柳木の根本	2018	0.047	0.052	草地	10/28
		2024	0.046	0.040		
東岩槻駅	南口エレベーター左	2019	0.043	0.040	タイル敷	10/30
		2024	0.052	0.041		
	北口エレベーター左	2019	0.054	0.050	タイル敷	10/30
		2024	0.049	0.048		
岩槻諏訪公園	ピエロ遊具前	2018	0.058	0.048	土	10/30
		2024	0.059	0.041		
	管理事務所看板下	2018	0.056	0.042	コンクリート	10/30
		2024	0.042	0.037		
慈恩寺親水公園	地図看板下	2018	0.047	0.039	土	10/28
		2024	0.042	0.041		
	滑り台降り口前	2018	0.049	0.046	砂・土	10/28
		2024	0.047	0.046		
北部工業団地記念公園	入口看板下	2018	0.078	0.049	草地	10/28
		2024	0.044	0.046		
	ベンチ脇	2018	0.054	0.052	土	10/28
		2024	0.041	0.039		
しらこぼと水上公園	岩槻側南側溝	2012	0.101	0.102	アスファルト	10/28
		2024	0.053	0.049		
	プール側フェンス外 百葉箱の下	2019	0.067	0.045	ブロック敷	10/28
		2024	0.065	0.056		
こぼと児童公園	シーソー前ベンチ	2020	0.056	0.057	土	10/30
		2024	0.056	0.050		
	東屋横の大木	2021	0.061	0.038	土	10/30
		2024	0.044	0.034		

※加倉(北)交差点 昨年まで砂利だったが、アスファルトの歩道に整備されていた。川通公園トイレ前 ブロック敷がアスファルトになっていた。
計測器 : さいたま市の各区役所より借りる
計測の仕方: 地上5cmと1.0mを2回計測して平均値を出す。(単位:μSv)

放射線量測定を終えて

今年も放射線量測定に岩槻のあちこちを回りました。まずは、放射線量の数値は昨年同様、基準値を下回っていたことは良かったと思います。私達は今年9月に、いわき放射能市民測定室たらちねさんとの交流会において当時の原発事故における未曾有の被害のお話をお聞きました。当時の福島の方々の苦悩と不安を思うと、ただ単に基準値以下で良かったということではなく、もう二度とあのような事故は起こってはいけないうのだと思いました。本当は放射能の心配などなくて良い世の中になってほしいです。(渡邊敦子)